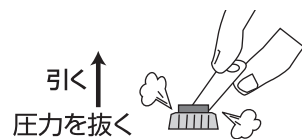


5 使用後は必ずタンクの圧力をぬく

●作業が終わったら安全弁⑳に付いている透明プラグ㉓を「シュー」という音がしなくなるまで引き上げてボトル内の圧力を逃がして下さい。



注:透明プラグを強く引くとはずれる場合がありますのでゆっくり引き上げてください。

⚠警告 破裂する恐れがありますので、加圧した状態のまま放置しないでください。

⚠警告 けがをする危険があるのでポンプキャップ等はずす際は、必ず先にボトル内の圧力を抜いてください。

○除草剤（薬品）は液体と顆粒がありますが、ガーデンフォーミーは液体用の希釈タイプスプレーですので顆粒は使えません。

○ご使用に際しては各メーカーの使用方法に従ってください。

お手入れ

使用後はできるだけ液体を残さず、真水で噴射して保管願います。直射日光が当たる場合、長時間置かないようにしてください。

品質表示

本体ノズル：PP
容器：PE
給水ホース：シリコンゴム

仕様

W × D × H
サイズ(約):170×140×310mm
重量(約):430g

(付属品:計量カップ、ジェットノズル)

故障と修理

内容	原因	処置
●ポンプハンドルの動きが悪い	▼ワン型パッキンの油切れ	▲ワン型パッキンにマシン油か機械油を少量塗布する。
●シリンダー⑬内に液が逆流	▼ポンプ弁パッキン⑯にキズか劣化	▲ポンプ弁PKを新品に交換する
●圧力がかからない	▼ネジ部より空気が漏れる ▼①-B③⑪⑫⑮⑯のPKの劣化	▲各ネジ部を締めつける ▲新品と交換する
●噴霧の出が悪い	▼加圧不足 ▼ネジ部より空気が漏れる ▼ノズルキャップ①のゴミ詰まり	▲加圧する ▲各ネジ部を締めつける ▲掃除する
●液が止まらない	▼パッキンのキズか劣化	▲パッキンを新品に交換する
●安全弁の動きが悪い	▼ゴミ詰まり等	▲安全弁⑳を交換する

お問い合わせ

修理についてのご相談や部品のご注文は、下記までご連絡ください。

マルハチ産業株式会社

東京都港区芝4丁目12番2号 TEL 03-5443-8611 FAX 03-5443-8614

E-mail:maruhachi@muc.biglobe.ne.jp

MADE IN CHINA No.2018.06

※仕様は予告なく変更することがあります。



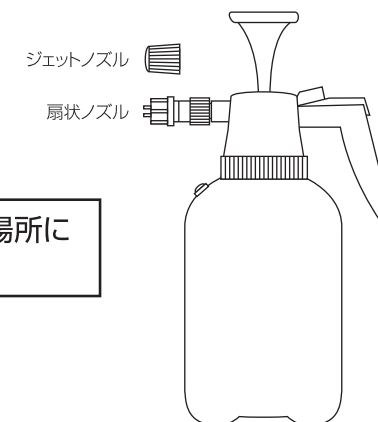
蓄圧式

発泡スプレー(除草剤専用) 取扱説明書

ガーデンフォーミー (GF-1500)

ボトル(2.0L)

液量MAX(1.5L)



この取扱説明書は、お使いになる方がいつでもみられる場所に大切に保管してください。

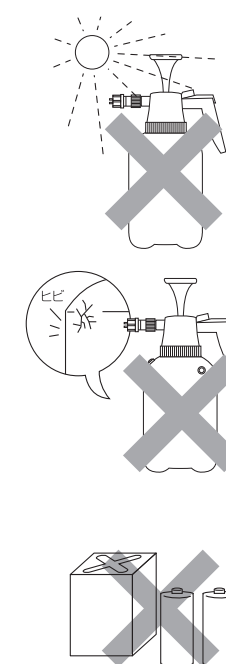
●安全に関する項目です。厳守してください。

⚠ 使用上のご注意

- ⚠危険
- 本器は雑草を枯らすための除草剤(液剤)専用です。目的以外には使用しないでください。また塗料、ベンジン、ガソリン、シンナー等の溶剤等は絶対に使用しないでください。破裂する恐れがあります。(ボトルに異常がなくても劣化が進みますので、3年くらいをめどに新品と交換してください)
 - 使用年数に拘らず、使用環境や使用頻度、液剤の希釈条件や使用後の保管状態によって、本品の劣化が早まる可能性があります。ボトルにクモの巣状の細かい亀裂が生じたり変色や異常が出たらボトルの寿命です。ただちに交換してください。
 - 直射日光に当たる場所に長く置くと、本器の材質が劣化し破裂する恐れがあります。
 - ボトル部にキズをつけたり、落としたり、ぶつけたり、強い衝撃を与えないください。
 - 火や高熱のそばに置かないで下さい。またお湯を入れないでください。
 - 種類の違う液体が混合されると危険です。おやめください。(上記項目を守らないと破裂や思わぬ事故をまねく恐れがあります)

- ⚠警告
- ご使用する薬剤は規定通りに薄めてください。
 - 圧力を上げ過ぎると思わぬ事故の原因になります。使用前に、各部のネジ部にゆるみがないか確認してください。
 - 作業する場合、周りの道具や備品に損傷を与えないようご注意ください。
 - 作業が終了しましたら、ただちに本器の圧力を安全弁より開放してください。

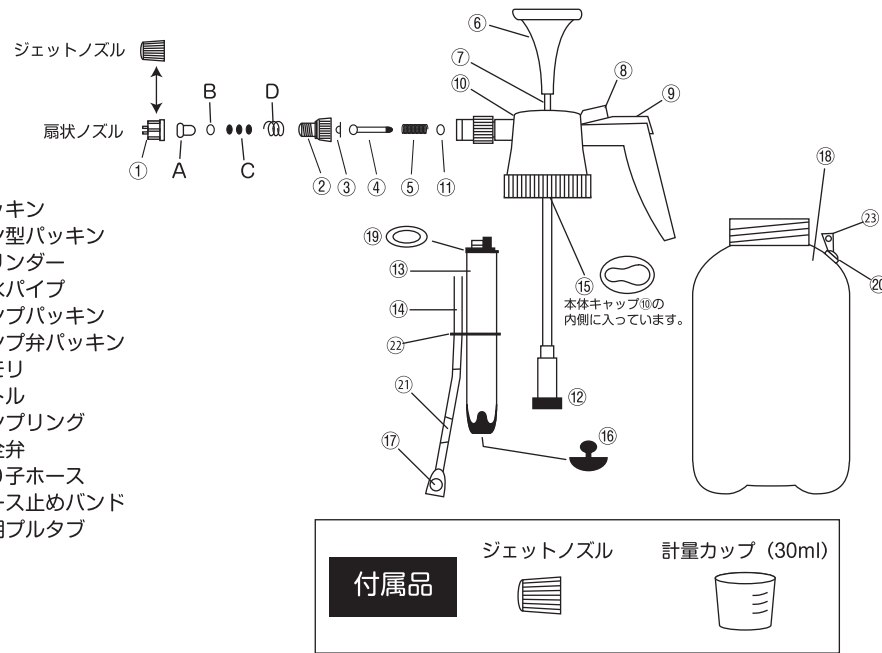
- ⚠注意
- 本器を改造したり、本書に説明のない分解や修理はしないでください。
 - 除草剤は、種類を限定してご使用ください。
 - 本器の寿命を永く保つためまた、パーツの損傷を防ぐため使用後は必ず真水で1~2分散布して薬剤を洗い流してください。



各部の名称

分解図と各部名称

- ①ノズル
A 駒(虫)
B Oリング
C フィルター
D スプリング
- ②ノズルジョイント
- ③パッキン
- ④弁棒
- ⑤スプリング
- ⑥ツマミ
- ⑦ツマミ棒
- ⑧レバーロックピン
- ⑨レバー
- ⑩本体キャップ
- ⑪パッキン
- ⑫ワン型パッキン
- ⑬シリンダー
- ⑭吸水パイプ
- ⑮ポンプパッキン
- ⑯ポンプ弁パッキン
- ⑰オモリ
- ⑱ボトル
- ⑲ポンプリング
- ⑳安全弁
- ㉑振り子ホース
- ㉒ホース止めバンド
- ㉓透明プルタブ



使用方法

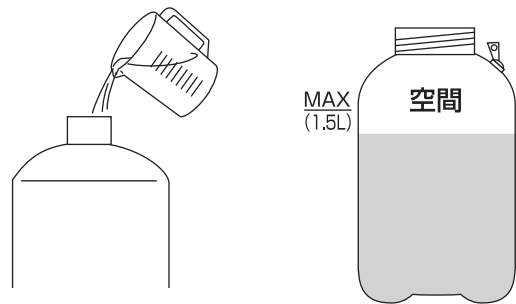
1 ボトルに除草剤を入れる

ボトルに除草剤(界面活性剤を含む)を入れる(除草剤は付属の計量カップに入れてください)

例: 除草剤(20ml)に対し、水を5倍(100ml)、10倍(200ml)、20倍(400ml)~100倍で、泡の状態を調整してください。
※除草剤の種類、密度、濃度により発泡状態は異なりますので、水で薄める場合はお好みの発泡状態をご確認ください。

2 水を入れて希釈する

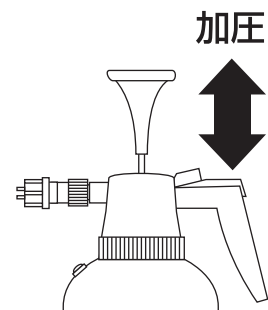
除草剤を水で薄めた液は必ず1.5リットル以下にしてください。



注意
加圧前には必ず各ジョイント部分のナットが確実に締めてあるか確認してください。

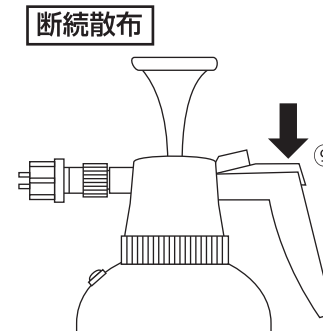
3 加圧する

本体キャップ⑩をしっかり締めて、ツマミ⑥を持って上下にポンピングします。ポンピングが重くなったらタンク内の圧が満タンなので止めてください。

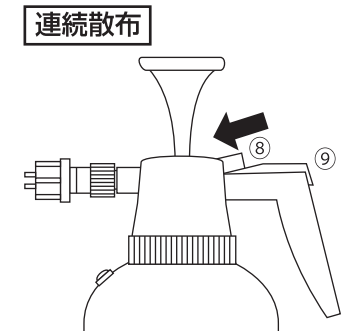


注意
ポンピング(加圧)が弱いと泡の状態が悪くなるため、できるだけ力を入れて加圧して下さい。

4 散布する ●必ずマスク・ゴーグル・グローブを着用してください。



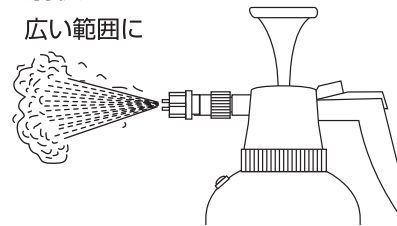
⑨のレバーを下に押すと散布開始。離すと止まります。



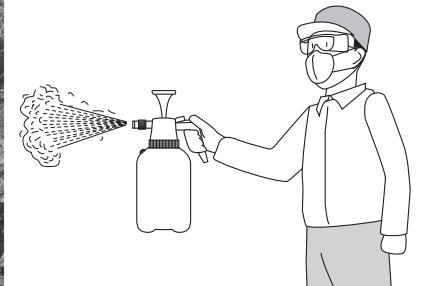
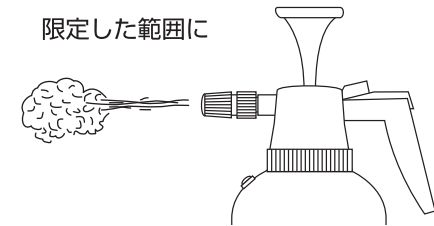
⑨のレバーを下に押しながら⑧のレバーロックピンを前へスライドさせて固定させる。

●泡の勢いが弱くなったら、再び加圧してください。

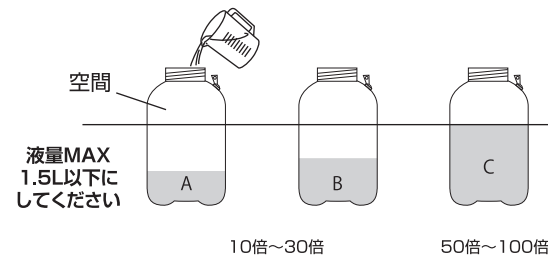
扇状ノズル:
広い範囲に



ジェットノズル:
限定した範囲に



希釈例



- 除草剤の濃度によって薄める水の倍率が違いますので、A~Cの洗剤量に合わせて最適な泡の状態を確認、調整してください。
- 使用する除草剤の発泡性が低いと、発泡しないか、水っぽい泡になります。
- 付着性の良い泡になるよう、除草剤の濃度を調整してください。
- 薄め倍率は約10倍~約100倍くらいですが、使用する除草剤の種類によって違いますので、必ず確認してからお使いください。